

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの政務調査報告>

第86号

2009年3月15日
一月刊

古川なおきレポート

古川なおき政務調査事務所 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

内部コストの削減を！

皆さんお元気ですか？

私は花粉症が例年になくひどい状況で、朝の駅頭でもくしゃみやみを連発させながら、レポートを配布させていただいております(笑)。

さて、今回は3月13日に開かれた予算特別委員会での質問について報告させていただきます。「横浜市コールセンター」や「日産スタジアムのネーミングライツ」に引き続き、久しぶりに大きな政策を提案させていただきました。それは、横浜市の購買コストを削減させる「サプライセンタ―」の設置です。

横浜市は借金がまだ約5兆円残っています。高齡化は進んで10年後には4人に1人が高齡者となり、介護や医療費などの扶助費は増え続けます。家計に例えると、給料は増えないけれど住宅ローンの返済や介護など何かとお金がかかってしまうので、大変苦しい状況です。横浜市は今までも行政改革を行い、職員の削減や民間委託などでコストを削減してきましたが、さらに改革できることは徹底的に行い、無駄を省かなければなりません。そこで、私は横浜市の職員が毎日使用するボールペンやコピー用紙等の消耗品やパソコン、コピー機などの事務機器などの物件費に注目してみました。私たちは缶ジュースを自動販売機で購入すると1本20円ですが、1ダースをスーパーで買えば1本120円よりも安く購入することができます。では、千ダース購入したらいくらになるでしょうか？さらに安くするのは可能ですね。

このように、当たり前のことかもしれませんが、同じ物であればたくさん購入するほど物の値段は安くなります。消耗品のほか印刷や清掃メンテナンスなどの作業も一括して注

文すればコストダウンできます。しかし横浜市では、各局、各区の課が個々に小口で購入しているのが現状です。近年、ボールペンなどは共通物品として購入するようになったものの、様々な物品は、各局でも一括購入していませんし、水道局などの事業局や教育委員会事務局や小中学校などでもバラバラに購入している状況で、まだまだコスト削減の余地があります。そこで、横浜市で使用する様々な物品を全て一括購入し、各課に配送することができ「サプライセンタ―」のような部署を設置することを今回の予算特別委員会でも提案しました。厳しい競争に勝たなければならぬ民間企業では既に多くの会社で物やサービスの一括購入を集中させて、徹底的にコスト削減に取り組んでいます。アメリカの市や州の役所でも同じで、ニューヨーク市役所では2年間に約60億円の物件費のコストを削減することができたそうです。消耗品や機器のメンテナンスなどは毎年のことですから、物件費は毎年数十億円ずつの削減効果が見込まれます。約2万7千人の職員が働く横浜市の物件費は年間一十億円以上ありますので、一括購入する効果はかなり高いと思います。財政が厳しいからこそ「サプライセンタ―」のような部署を設置することで、スケールメリットを活かして物品を安く購入し、節約できたお金を福祉や教育に回すべきだと思います。阿部副市長からも今後検討したいと、設置に前向きな答弁をいただきました。実現までには課題もありますが、まずは、現状をご報告させていただきます。

もうすぐ新年度です。花粉症に負けず元気にお過ごしください！

横浜市議員 古川 直季

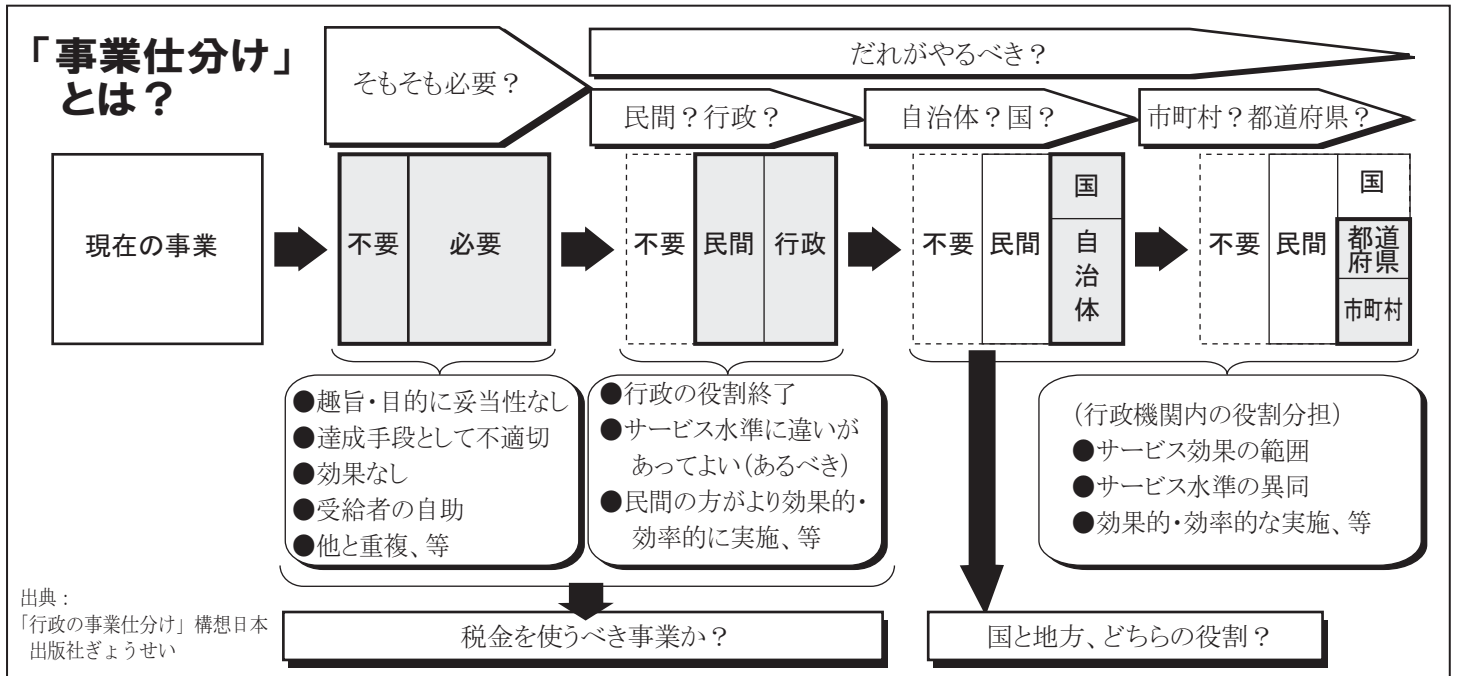
「事業仕分け」をご存知ですか？

横浜市の財政を考えれば考えるほど、今まで行ってきた仕事を見直し、税金の無駄を撲滅しなければなりません。1面に書かせていただきましたが、内部事務作業で少しでも合理化できるものは徹底的に合理化することの他、現在横浜市が実施している事業を見直さなければなりません。横浜市が実施している事業を市民にとって根本的に必要な事業か不必要な事業かを判断し、必要であれば、市が行うべきか、県が行うべきか、国が行うべきか、民間が行うべきかを判断し、各事業を仕分けする作業を「事業仕分け」と言います。事業

を可視化し、いくつかの事業は、費用対効果が低く税金で実施する必要がないと判断されれば、その分の税金を市民にとって本当に必要な施策に充てることができます。

事業の実施主体を判断するのは、当該自治体の職員以外に地域住民、他都市の職員、他都市の議員など外部の方と一緒に判断することがポイントです。事業仕分けは住民が参加することが私は重要だと思っていますので、皆様にも是非関心をお持ちいただければ幸いです。

横浜市では過去にNPO法人・構想日本が中心となり、経済局と福祉局で実施しました。今後は全ての局で「事業仕分け」を実施するように先日の予算特別委員会で要望しました。



土曜日の朝食を
ちょっと有意義に！
みんなでトーク



古川なおき朝食ミーティングのお知らせ

初企画！

＜第1回 朝食ミーティング＞

- ★日時 2009年4月11日 土曜日 8時～9時30分(遅刻、早退OKです)
- ★場所 希望が丘駅近くの「ジョナサン」禁煙席
- ★会費 ご自分で注文した分をジョナサンへ直接お支払いください

政務調査活動の一環として、「多くの市民の皆様のご意見を」「直接うかがいたい」と思い、朝食ミーティングを企画させていただきます。いつもの土曜日より少しだけ早起きして、地元旭区のこと、横浜市のことについて古川なおきと話しませんか。

特に難しいことはありません。皆様が生活されていて気づいたことをお聞かせいただければいいんです。お気軽にご参加いただければと思います。

お願い！ ※特別に席を予約しているわけではありません。
自由にご参加いただき横浜についてのさまざまなことを皆さんと話そう！という趣旨です。

お問合せ先：古川なおき事務所 TEL 045-391-4000

古川なおきプロフィール
 県立希望ヶ丘高校・明治大学・
 明治大学公共政策大学院 卒業
 横浜銀行勤務後、
 衆議院議員松沢成文(現在神奈川県知事)秘書
 平成7年4月横浜市議員初当選(26才最年少)
 平成19年4月4期目当選(自民党横浜市議員団)
 平成20年水道交通常任委員会委員長
 同 生活安全・危機管理・消防・
 情報化社会特別委員会委員